

## 「発想力育成教室」に参加しました。

### 八戸市少年少女発明クラブ

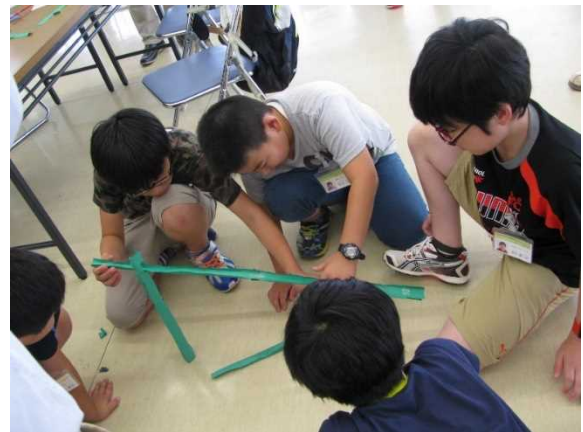
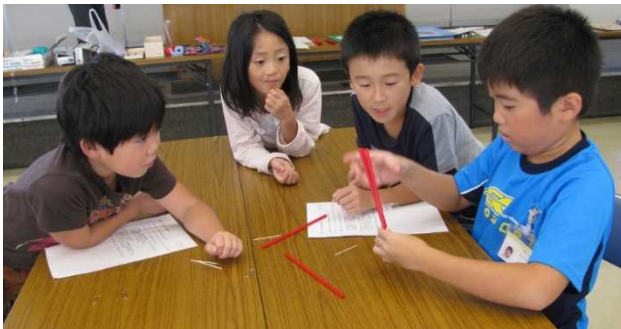
9月11日、青森県発明協会主催「発想力育成教室」にクラブ員22名が参加しました。講師は豊田少年少女発明クラブの保田先生です。課題は「自立する高い構造物をつくれ」「ビー玉旅行」「スカイタマー」など、チームで取り組むスポンテニアスでした。

八戸のクラブ員は発明くふう作品作りに向けたアイディアの出し方の勉強はしていますが、このような時間制限付きの競技課題にチームで取り組む活動は、大半のクラブ員にとって初めての体験でした。

画用紙やセロテープ、つまようじやクリップなど身近な材料と、はさみや定規など毎日使っている道具での製作でしたが、短い時間の中でチームの意見をまとめ、且つ製作も同時に行わなければならないということで、みんな大慌て。でも、どの子も笑顔で楽しそうに課題に取り組んでいました。

#### 【クラブ員の感想】

- ・初めてやってむずかしかったけれど、どれもおもしろかった。(小3男子)
- ・チームでなかよくできたことがいちばんうれしいです。(小3女子)
- ・高いタワーを作る時、たおれない作りになろうと思って、まず土台に足をつける工夫をした。(小4男子)
- ・(今後の)チーム競技では、今回学んだことを生かして、チームワークを高めたいです。(小6男子)
- ・他の人の作品は形や重さの工夫をされていて参考になった。班で色々なアイディアが出てきて、想像がふくらんでいき、形になっていった。(中1女子)
- ・今日の課題には正解がなく、いくらでも考えることができ、おもしろかった。(中1男子)



#### 【指導員感想】

スポンテニアスの得点は、構造物自体の成績以外に、独創性と、チームワークに与えられる。

子どもたちの感想に一番多く挙げた「チームワークの大切さ」だが、自分と異なる意見にどう対処するかや、傍観者にならず全員が参加しなければならないところに難しさがあると感じた。

また、「難しかったけど面白かった」「正解のない課題」と、競技課題に対する感想も多かった。講師から「より高く、より早く」との説明があったが、競い合うことと時間制限が子どもたちのチャレンジ精神に火をつけ、夢中になって課題に取り組む子どもたちの姿が見ることができた。

たいへん有意義な取り組みに、ご指導いただいた豊田少年少女発明クラブの先生方、主催の青森県発明協会の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。